



平成 29 年 2 月 6 日

各 位

会社名 株式会社アサツー ディ・ケイ  
代表者名 代表取締役社長 植野 伸一  
(東証第一部 コード番号：9747)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 中島 香  
Tel 03 (6830) 3855

(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月 31 日付「(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ」において、当社が平成 28 年 9 月に買収し、当社の連結子会社となった株式会社ゴンゾ（以下、「ゴンゾ」といいます。）における買収以前の期間にかかる不適切な会計処理について、特別調査委員会がフォレンジック調査等で指摘した事項を踏まえて行った必要な調査の結果ならびに公開買付価額の妥当性等および当社の業績への影響をお知らせいたしました。本日、ゴンゾの過年度決算の訂正内容が確定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### ○ゴンゾの過年度決算の訂正について

平成 28 年 9 月の当社連結子会社化前のゴンゾにおける過年度決算の訂正による影響の総額（平成 23 年 4 月～平成 28 年 3 月の総額）は次のとおりでございます。

売上高	▲ 1,496 百万円
営業利益	▲ 1,911 百万円
当期純利益	▲ 1,811 百万円
純資産額	▲ 1,563 百万円

※ ゴンゾは、第 18 期半期報告書について、平成 29 年 1 月 4 日付で関東財務局より提出期限延長の承認を受けておりましたが（承認後の提出期限：平成 29 年 1 月 31 日）、本日、過年度有価証券報告書等の訂正報告書および第 18 期半期報告書を提出いたしました。

※ 当社連結子会社化前のゴンゾにおける不適切な会計処理を原因とした当社の過年度決算（平成 28 年 12 月期第 3 四半期報告書）の訂正については、質的量的側面から検討の結果、損益への影響はなく、金額的重要性が低いことから、訂正報告書の提出は行いません。また、「のれん」の会計処理については、特別調査委員会の指摘等により新たに判明いたしました影響額（総額 441 百万円）を含め、効果の及ぶ期間での均等償却を検討しております。

以 上